



平成 22 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 仁
 (コード番号: 4574 東証第二部)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 吉 川 友 貞
 (TEL. 06-6382-1135)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 10 月 9 日に発表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

平成 22 年 3 月期連結会計年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益 (円) (注)
前回発表予想 (A)	9,653	2,998	2,995	1,799	141.03
今回発表予想 (B)	8,796	2,478	2,494	1,648	129.21
増減額 (B - A)	△857	△520	△501	△150	
増減率 (%)	△8.9	△17.3	△16.7	△8.4	
(ご参考) 前期実績	6,094	894	843	470	110.72

事業の種類別連結売上高（平成 22 年 3 月期連結会計年度）

	医薬品事業	感染管理事業	その他事業	売上高合計
前回発表予想 (A)	4,759	4,857	36	9,653
今回発表予想 (B)	4,844	3,911	39	8,796
増減額 (B - A)	85	△945	3	△857
増減率 (%)	1.8	△19.5	9.9	△8.9
(ご参考) 前期実績	4,887	1,167	38	6,094

修正の理由

当連結会計年度（以下、当期）は、新型インフルエンザの発生に伴い、国内における衛生対策意識や製品需要が従来以上に高まったことを背景に、当社の感染管理事業が急伸し、連結業績の大幅な拡大を見込んだことから、10 月には当期二回目となる業績予想の上方修正を発表致しました。また、前回（10 月）予想においては、第 4 四半期には季節的に販売店側が店頭陳列商品を見直すことから、当社の衛生管理製品「クレベリン」シリーズに対する受注減少と返品率の上昇による感染管理事業の業績低下も見込んでおりました。しかしながら、国内において急速に進んだ衛生対策が、第 3 四半期終盤にはほぼ一巡したことや、新型インフルエンザが当初の想定よりも早く収束に

向かったこと等を背景に、第3四半期終盤以降は、当社製品に対する受注も急速に縮小し、特に第4四半期は、製品受注の減少と返品が発生が、前回予想時に見込んだ水準を大幅に上回って推移致しました。これにより、当期の感染管理事業売上高は、対前回予想比945百万円減（19.5%減）となる3,911百万円を見込むこととなりました。

一方、医薬品事業につきましては、『セイロガン糖衣A』を中心として、国内市場向け販売が前回予想に対して堅調に推移し、また、海外市場向け販売においても、香港、台湾の他、米国向け等への出荷が前回予想を上回ったことから、当期の医薬品事業の売上高は対前回予想比85百万円増（1.8%増）となる4,844百万円を見込んでおります。

これらの結果、当期の連結売上高は前回予想に対し857百万円減（8.9%減）となる8,796百万円を予想しております。また、機動的な費用コントロールにより、販売費及び一般管理費は前回予想に対して減少を見込むものの、売上総利益の減少影響を主として、営業利益は対前回予想比520百万円減（17.3%減）となる2,478百万円、経常利益は同501百万円減（16.7%減）となる2,494百万円、当期純利益は同150百万円減（8.4%減）となる1,648百万円を予想しております。

（注）平成21年8月1日付にて、1：3の株式分割を実施しており、当該株式分割の影響を反映した場合、前期実績の1株当たり当期純利益は36円91銭となります。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上